
序 文



これが最後の部位別皮膚疾患アトラスになるはずである。事典や全集全盛期に育った筆者の書棚には父が購入したこれらの書物であふれかえていた。幼少期には誰に言われるともなくこれらの書物をむさぼり読んだものである。時代が変わり、今や必要な情報だけを検索できるツールがあれば、それらの書籍は無縁のものになりつつある。しかし現在のところ病変だけを画像入力すれば診断してくれる AI はまだない。それは、どの部位にできたかにより、皮疹の性状や色調が大いに異なってくるからである。

例えば手足口病(頭部・顔：p.139，軀幹・四肢：p.117，234，351 参照)は分布のみで診断できるが、個疹の写真だけではそれが典型疹でなければなかなか正確な診断に至らない。われわれ皮膚科医はまず患者さんの体の一部位にできた皮疹を診て、診断の見当をつけ、その後確認のため他の部位を診ていくことになる。ところが教科書やほとんどのアトラスは、皮膚疾患の分類に基づいて疾患が列記されている。一瞥で診断できる医師ならそのような教科書は確認のために使えるが、それができない医師には、従来型のアトラスは宝の持ち腐れとなる。

本書はまず部位別の疾患の写真が出てくる。これで皮膚疾患を見慣れていない医師でもこの部位にできた皮疹の中から似た臨床症状を呈する疾患を探せばよいことになる。つまり、診察する順番に沿ってアトラスを見ていけば、自然に最終診断にたどり着くことになるのである。このようなアトラスはこれまでなかったわけではないが、本書ほど多くの疾患が網羅されているアトラスは皆無であった。ある部位にできうるあらゆる皮膚疾患を網羅するには、多くの医師の協力のもと、できうる限り多くの写真を集めるという気の遠くなるような作業が必要になる。この企画が完成するまで、何と十数年が経過してしまったのはいかに大変な作業だったかを物語っている。まるで古代エジプトのピラミッドの建設に相当する大変な難事業だったのである。

極言すれば、本書を診察室に備えておくだけで、一人の有能なベテラン皮膚科医を傍に置いておくようなものなのである。この先はこの画像を AI に読み込ませれば、世界に稀な AI による皮膚疾患診断ツールが完成するはずである。この企画をした責任をとってこの巻頭言を書いているが、改めてできあがった本書を手にとって予想を上回る出来映えに感嘆の念を禁じ得なかった。それは古代エジプトのピラミッドを見上げた王たちが感じた思いに匹敵するように思えた。

Visual Dermatology 編集顧問

塩原 哲夫

編集・執筆 Visual Dermatology 編集委員会

編集顧問

大原 國章	赤坂虎の門クリニック院長
塩原 哲夫	杏林大学名誉教授
松永 佳世子	藤田医科大学名誉教授／ 医療法人大朋会刈谷整形外科病院副院長
江藤 隆史	あたご皮膚科副院長
大槻 マミ太郎	自治医科大学 副学長／特別教授

編集委員

門野 岳史	聖マリアンナ医科大学医学部皮膚科教授
梶島 健治	京都大学大学院医学研究科・医学部皮膚科学教授
安部 正敏	医療法人社団廣仁会 札幌皮膚科クリニック院長
多田 弥生	帝京大学医学部皮膚科学講座教授
室田 浩之	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学教授

執筆者（五十音順）

青笹 尚彦	佼成病院皮膚科（現 小川赤十字病院皮膚科）
青山 裕美	川崎医科大学皮膚科学教室
上松 藍	帝京大学医学部皮膚科学講座
芦田 美輪	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
東 さおり	帝京大学医学部皮膚科学講座
新井 達	聖路加国際病院皮膚科
荒川 七恵	山王病院皮膚科（現 なないろ皮膚科）
安藤 貴代	自治医科大学医学部皮膚科学講座
石河 晃	東邦大学医療センター大森病院皮膚科
石川 武子	帝京大学医学部皮膚科学講座
伊東 慶悟	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 （現 日本医科大学武蔵小杉病院皮膚科）
井上 義彦	福岡山王病院皮膚科（現 井上皮膚科形成外科）
今山 修平	今山修平クリニック&ラボ
井本 滋	杏林大学医学部乳腺外科
岩永 聡	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
上田 由紀子	ニュー上田クリニック
牛込 悠紀子	杏林大学医学部皮膚科（現 にしあらい駅前皮膚科）
内田 秀昭	帝京大学医学部皮膚科学講座
内田 理美	慶應義塾大学医学部皮膚科（現 内田クリニック）
梅垣 知子	慶應義塾大学医学部皮膚科 （現 東京女子医科大学附属足立医療センター皮膚科）
梅澤 慶紀	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座
江川 昌太	帝京大学医学部皮膚科学講座
太田 多美	東海大学医学部付属病院皮膚科（現 太田皮膚科クリニック）
大西 誉光	帝京大学医学部皮膚科学講座
大野 優	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 （現 白金高輪駅前ゆう皮膚科クリニック）
大畑 恵之	稲城市立病院皮膚科（現 本厚木在宅クリニック）
小原 芙美子	東邦大学医療センター大森病院皮膚科 （現 池上総合病院皮膚科）
加世田 千夏	帝京大学医学部皮膚科学講座
加藤 和夏	帝京大学医学部皮膚科学講座
加藤 峰幸	杏林大学医学部皮膚科学教室 （現 東京都立多摩総合医療センター皮膚科）

鎌田 昌洋	帝京大学医学部皮膚科学講座
軽部 大希	自治医科大学医学部皮膚科学講座
川崎 ゆりか	帝京大学医学部皮膚科学講座 (現 きぬ皮フ科クリニック)
日下 理絵	帝京大学医学部皮膚科学講座
鍛塚 さやか	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
鍛塚 大	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
小池 雄太	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
五味 博子	帝京大学ちば総合医療センター皮膚科
佐伯 葉子	山王病院皮膚科 (現 新宿つるかめクリニック)
佐藤 篤子	自治医科大学医学部皮膚科学講座
佐藤 佐由里	山王病院皮膚科
佐藤 典子	公立阿伎留医療センター皮膚科
清水 香	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 (現 清水皮膚科医院)
杉原 夏子	自治医科大学医学部皮膚科学講座
竹内 周子	帝京大学医学部皮膚科学講座
竹中 基	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学
田中 隆光	帝京大学医学部皮膚科学講座
田中 勝	東京女子医科大学附属足立医療センター皮膚科 (現 杏林大学医学部皮膚科学教室客員教授)
田宮 紫穂	東海大学医学部附属病院皮膚科 (現 渋沢の田宮皮膚科)
千葉 知宏	杏林大学医学部病理学教室 (現 がん研有明病院病理部)
繼 渉	埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 (現 さいたま市立病院形成外科)
外山 雄一	済生会宇都宮病院皮膚科
中川 秀己	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 (現 あたご皮フ科)
長田 麻友美	帝京大学医学部皮膚科学講座
中野 尚美	自治医科大学医学部皮膚科学講座
中村 仁美	聖路加国際病院皮膚科 (現 ナカデンビルクリニック)
並木 かほる	帝京大学医学部皮膚科学講座
成田 陽子	杏林大学医学部皮膚科 (現 東京都立多摩南部地域病院皮膚科)
西村 千尋	高島平平井皮膚科
早川 和人	帝京大学ちば総合医療センター皮膚科 (現 なおこ皮膚科クリニック)
林 耕太郎	帝京大学医学部皮膚科学講座
深谷 早希	帝京大学医学部皮膚科学講座
福田 知雄	独立行政法人国立病院機構東京医療センター皮膚科 (現 埼玉医科大学総合医療センター皮膚科)
福安 厚子	帝京大学医学部皮膚科学講座
船越 建	慶應義塾大学医学部皮膚科
堀川 弘登	慶應義塾大学医学部皮膚科
前川 武雄	自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科
馬淵 智生	東海大学医学部医学部専門診療学系皮膚科学
水川 伊津美	帝京大学医学部皮膚科学講座 (現 帝京大学医学部附属溝口病院皮膚科)
三鍋 俊春	埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科
向井 慶	帝京大学医学部皮膚科学講座
藪内 由季菜	帝京大学医学部皮膚科学講座
山口 祐子	帝京大学医学部皮膚科学講座
横倉 英人	済生会宇都宮病院皮膚科 (現 横倉皮膚科)
鷺崎 久美子	大森町皮ふ科
渡辺 愛友	帝京大学医学部皮膚科学講座

好発部位でみる皮膚疾患アトラス【軀幹・四肢 編】

編集 Visual Dermatology 編集委員会

第1章 乳頭・乳輪

Part 1 総説

- 総説 1. 皮膚科で扱う乳頭、乳輪疾患の種類と注意点 (福田 知雄) p.016
総説 2. nipple の解剖・生理, nipple の疾患と診断の注意点 (井本 滋, 千葉 知宏) p.021
総説 3. 形成外科からみた nipple の正常・異常 (繼 渉, 三鍋 俊春) p.026

Part 2 非腫瘍性疾患

01. 乳頭・乳輪の Darier 病 (加藤 峰幸) p.030
02. Fordyce 状態 (大原 國章) p.032
03. 乳輪周囲にみられた固定薬疹 (牛込 悠紀子) p.034
04. アトピー性皮膚炎に伴う nipple dermatitis (大槻 マミ太郎, 荒川 七恵, 佐藤 佐由里) p.036
05. メトロニダゾールゲルによる接触皮膚炎症候群 (太田 多美, 田宮 紫穂, 馬淵 智生) p.038
06. Kaposi 水痘様発疹症 (佐藤 典子) p.040
07. 乳頭の梅毒 (大原 國章) p.042
08. 尖圭コンジローマ (佐藤 佐由里, 佐伯 葉子, 大槻 マミ太郎) p.044

Part 3 母斑・腫瘍性疾患

09. hyperkeratosis of nipple and areola (西村 千尋, 五味 博子, 早川 和人) p.046
10. erosive adenomatosis of the nipple (小原 芙美子, 石河 晃, 鷺崎 久美子) p.048
11. adenoma of the nipple (加藤 峰幸) p.050
12. 乳頭部の軟性線維腫および皮膚線維腫 (成田 陽子) p.052
13. 乳暈に生じた皮膚平滑筋腫 (清水 香, 梅澤 慶紀, 大野 優, 伊東 慶悟, 中川 秀己) p.054
14. 乳房原発の横紋筋肉腫 (内田 理美, 船越 建) p.056
15. 乳暈部の clear cell acanthoma (大原 國章, 上田 由紀子) p.058
16. 乳頭の apocrine poroma (井上 義彦, 大原 國章) p.060
17. 乳頭の母斑細胞母斑 (大原 國章) p.062
18. 右乳頭部に生じた Bowen 病 (中村 仁美, 大畑 恵之) p.064
19. 乳頭部に生じた基底細胞癌 (青笹 尚彦, 門野 岳史) p.066
20. 乳房 Paget 病 (牛込 悠紀子) p.068
21. 乳輪部の黒褐色局面を呈した乳癌 (堀川 弘登, 梅垣 知子, 船越 建, 田中 勝) p.070
22. 男性乳癌 (船越 建) p.072
比べてみよう! 部位別の臨床像① 汗孔腫 p.074

第2章 手

Part 1 炎症性疾患

01. 手湿疹 (主婦湿疹) (江藤 隆史) p.076
02. 進行性指掌角皮症 (横倉 英人, 大槻 マミ太郎) p.077
03. 汗疱・異汗性湿疹 (江藤 隆史) p.078
04. 扁平苔癬 (塩原 哲夫) p.079
05. 乾癬 (江藤 隆史) p.081
06. 掌蹠膿疱症 (PPP) (江藤 隆史) p.083
07. 好酸球形膿疱性毛包炎 (EPF) (椛島 健治) p.084
08. 慢性放射線皮膚炎 (江藤 隆史) p.085

Part 2 接触皮膚炎

09. ゴム手袋による接触皮膚炎 (松永 佳世子) p.086
10. 酸化染毛剤 (ヘアカラー) とパーマ液による接触皮膚炎 (松永 佳世子) p.087
11. ケトプロフェン貼付剤による光接触皮膚炎 (江藤 隆史, 松永 佳世子) p.088
12. サクラソウ皮膚炎 (江藤 隆史) p.089

Part 3 薬疹

13. 多形滲出性紅斑 (EEM) (江藤 隆史) p.090
14. 播種状紅斑丘疹型薬疹・光線過敏型薬疹 (塩原 哲夫) p.091
15. 固定薬疹 (江藤 隆史) p.093

Part 4 リンパ腫

16. 菌状息肉症 (江藤 隆史) p.094
17. 成人T細胞白血病/リンパ腫 (ATLL) (江藤 隆史) p.095

Part 5 膠原病

18. 全身性エリテマトーデス (SLE) (新井 達) p.096
19. 全身性強皮症 (SSc) (新井 達) p.097
20. 皮膚筋炎 (DM) (新井 達) p.098
21. Raynaud 現象 (新井 達) p.099
22. Mechanic's hand (新井 達) p.100
23. Gottron 徴候 (新井 達) p.101
24. 逆 Gottron 徴候 (新井 達) p.102

Part 6 肉芽腫症・水疱症

25. 環状肉芽腫 (江藤 隆史) p.103
26. サルコイドーシス (江藤 隆史) p.105
27. 類天疱瘡 (江藤 隆史, 新井 達) p.106

Part 7 角化症

28. 汗孔角化症 (江藤 隆史, 安部 正敏) p.107
29. 毛孔性紅色秕糠疹 (PRP) (江藤 隆史, 安部 正敏) p.108
30. 掌蹠角化症 (長島型) (江藤 隆史, 安部 正敏) p.109

Part 8 感染症

31. カンジダ症 (江藤 隆史) p.110
32. 手白癬 (小水疱型) (江藤 隆史, 安部 正敏) p.111
33. 手白癬 (角質増殖型) (江藤 隆史, 安部 正敏) p.112
34. 単純疱疹 (江藤 隆史) p.113
35. 尋常性疣贅 (江藤 隆史, 安部 正敏) p.114
36. 疥癬 (江藤 隆史, 安部 正敏) p.115
37. 手足口病 (江藤 隆史) p.117
38. 麻疹 (塩原 哲夫) p.119
39. 伝染性紅斑 (塩原 哲夫) p.120
40. 梅毒 (江藤 隆史) p.121
41. 非定型抗酸菌症 (江藤 隆史) p.123

Part 9 血管系腫瘍・血管奇形

42. 小児血管腫 (門野 岳史) p.124
43. 毛細血管拡張性肉芽腫 (門野 岳史) p.125
44. Intravascular papillary endothelial hyperplasia : IPEH (門野 岳史) p.126
45. 毛細血管奇形 (門野 岳史) p.127

46. 動静脈奇形 (AVM) (門野 岳史)	p.128
47. Acquired digital arteriovenous malformation (門野 岳史)	p.129
48. 静脈奇形 (門野 岳史)	p.130
Part 10 色素性病変・母斑症・症候群	
49. 母斑細胞母斑 (門野 岳史)	p.131
50. Spitz 母斑 (門野 岳史)	p.133
51. 青色母斑 (門野 岳史)	p.135
52. 異所性蒙古斑 (門野 岳史)	p.136
53. 後天性真皮メラノサイトーシス (ADM) (江藤 隆史)	p.137
54. 炎症性線状疣贅状表皮母斑 (ILVEN) (江藤 隆史)	p.138
55. 扁平母斑 (大原 國章)	p.139
56. Peutz-Jeghers 症候群 (江藤 隆史)	p.140
57. 先天性血管拡張性大理石様皮斑 (門野 岳史)	p.141
58. Klippel-Trenaunay-Weber 症候群 (門野 岳史)	p.142
Part 11 色素異常・色素沈着症	
59. 尋常性白斑 (江藤 隆史)	p.143
60. 遺伝性対側性色素異常症 (遠山) (DSH) / 網状肢端色素沈着症 (北村) (AR) (江藤 隆史)	p.144
61. 刺青 (大原 國章)	p.145
Part 12 良性腫瘍	
62. 外傷性表皮嚢腫 (門野 岳史)	p.146
63. 毛芽腫 (門野 岳史)	p.147
64. 汗孔腫 (門野 岳史)	p.148
65. 皮膚線維腫 (門野 岳史)	p.150
66. 後天性指趾被角線維腫 (門野 岳史)	p.151
67. 腱鞘線維腫 (門野 岳史)	p.152
68. 腱鞘巨細胞腫 (門野 岳史)	p.153
69. ガングリオン (門野 岳史)	p.154
70. 粘液嚢腫 (門野 岳史)	p.155
71. 神経線維腫 (門野 岳史)	p.156
72. 切断神経腫 (門野 岳史)	p.157
73. 神経鞘腫 (門野 岳史)	p.158
74. 脂肪腫 (門野 岳史)	p.160
75. 血管平滑筋腫 (門野 岳史)	p.162
76. 軟骨腫 (門野 岳史)	p.163
77. 骨軟骨腫 (門野 岳史)	p.164
Part 13 悪性腫瘍	
78. 悪性黒色腫 (MM) (大原 國章)	p.165
79. 有棘細胞癌 (SCC) (大原 國章)	p.167
80. 基底細胞上皮腫 (BCE) (大原 國章)	p.169
81. 日光角化症 (大原 國章)	p.170
82. Bowen 病 (大原 國章)	p.171
83. 悪性外毛根鞘腫 (大原 國章)	p.173
84. 隆起性皮膚線維肉腫 (DFSP) (大原 國章)	p.174
85. 癌の皮膚転移 (大原 國章)	p.175
比べてみよう！ 部位別の臨床像② 脂漏性角化症	p.176

第3章 爪

Part 1 爪甲変形

- | | |
|--|-------|
| 01. 点状陥凹 (安部 正敏) | p.178 |
| 02. 円形脱毛症 (小池 雄太, 室田 浩之) | p.179 |
| 03. 掌蹠膿疱症 (長田 麻友美) | p.180 |
| 04. 爪乾癬 (上松 藍, 鎌田 昌洋) | p.181 |
| 05. Hallopeau 稽留性肢端皮膚炎 (東 さおり, 並木 かほる) | p.182 |
| 06. ライター症候群 (大原 國章) | p.183 |
| 07. 爪扁平苔癬 (鋤塚 大, 室田 浩之) | p.184 |
| 08. Cronkhite-Canada 症候群 (門野 岳史) | p.185 |
| 09. twenty nail dystrophy (竹中 基, 室田 浩之) | p.186 |
| 10. 爪甲異栄養症 (安部 正敏) | p.187 |
| 11. GVHD (graft-versus-host disease) (鋤塚 さやか, 室田 浩之) | p.188 |
| 12. ばち指 (軽部 大希) | p.190 |
| 13. 肥厚性皮膚骨膜炎 (室田 浩之) | p.191 |
| 14. 爪甲剥離症 (岩永 聰, 室田 浩之) | p.192 |
| 15. mucous cyst (川崎 ゆりか, 福安 厚子) | p.193 |
| 16. ボー線 (安部 正敏) | p.194 |
| 17. 匙状爪 (安部 正敏) | p.195 |
| 18. ネイル・パテラ症候群 (大原 國章) | p.196 |
| 19. 先天性示指爪甲欠損症 (大原 國章) | p.197 |
| 20. 先天性爪甲欠損症 (椋島 健治) | p.198 |

Part 2 爪甲混濁

- | | |
|------------------------|-------|
| 21. 爪白癬 (安部 正敏) | p.199 |
| 22. green nail (深谷 早希) | p.200 |
| 23. 爪疥癬 (安藤 貴代) | p.201 |
| 24. 尋常性疣贅 (安部 正敏) | p.202 |

Part 3 機能異常

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 25. 陥入爪 (前川 武雄) | p.203 |
| 26. 巻き爪 (藪内 由季菜) | p.204 |
| 27. 後爪郭部爪刺し (椋島 健治) | p.205 |
| 28. 爪甲鉤彎症 (中野 尚美, 前川 武雄, 大槻 マミ太郎) | p.206 |

Part 4 色調の変化

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 29. 爪甲色素線条 (椋島 健治) | p.207 |
| 30. 先天性色素性母斑 (門野 岳史) | p.208 |
| 31. 悪性黒色腫 (田中 隆光) | p.209 |
| 32. Bowen 病 (椋島 健治) | p.211 |
| 33. 放射線の慢性被曝による色素沈着 (大原 國章) | p.212 |
| 34. 爪甲下出血・血腫 (安部 正敏) | p.213 |
| 35. 爪噛み (椋島 健治) | p.214 |
| 36. 抗がん剤による爪病変 (椋島 健治) | p.215 |
| 37. Muehrcke 線条 (石川 武子) | p.216 |
| 38. 黄色爪 (門野 岳史) | p.217 |

Part 5 結節・腫瘍

39. 有棘細胞癌 (SCC) (門野 岳史) p.218
40. エクリン汗孔腫 (門野 岳史) p.219
41. 後天性被角線維腫 (安部 正敏) p.220
42. Koenen 腫瘍 (門野 岳史) p.221
43. グロムス腫瘍 (大原 國章) p.222
44. 爪下外骨腫 (門野 岳史) p.223
45. 軟骨腫 (大原 國章) p.224
46. onychopapilloma (仮称：爪乳頭腫) (大原 國章) p.225
47. onychomatricoma (門野 岳史) p.226
48. onychocytic matricoma (大原 國章) p.227

Part 6 血流障害

49. 全身性強皮症 (SSc) (室田 浩之) p.228
50. 皮膚筋炎 (芦田 美輪, 室田 浩之) p.229
51. 糖尿病 (杉原 夏子) p.230
52. 凍傷 (佐藤 篤子) p.231

Part 7 急性感染症・物理障害

53. 化膿性爪囲炎 (外山 雄一) p.232
54. ヘルペス性瘰癧 (椛島 健治) p.233
55. 手足口病 (椛島 健治) p.234
56. 異物 (大原 國章) p.235
- 比べてみよう！ 部位別の臨床像③ 静脈奇形 p.236

第4章 陰部**Part 1 炎症性病変 (感染症以外)**

01. 間擦疹 (青山 裕美) p.238
02. 脂漏性皮膚炎 (椛島 健治) p.239
03. 接触皮膚炎 (青山 裕美) p.240
04. 固定薬疹 (FDE) (塩原 哲夫) p.241
05. 乾癬 (佐藤 佐由里, 大槻 マミ太郎) p.242
06. 扁平苔癬 (LP) (青山 裕美) p.243
07. 多形滲出性紅斑 (EEM) (椛島 健治) p.244
08. Behçet 病 (安部 正敏) p.245
09. Hailey-Hailey 病 (椛島 健治) p.246
10. 尋常性天疱瘡 (PV) (藪内 由季菜, 鎌田 昌洋) p.247
11. 硬化性萎縮性苔癬 (LSA) (塩原 哲夫) p.248
12. 亜鉛欠乏性皮膚炎 (安部 正敏) p.249
13. 化膿性汗腺炎 (大原 國章) p.250

Part 2 感染症 (真菌・細菌・ウイルス・梅毒・虫)

14. 股部白癬 (塩原 哲夫) p.251
15. カンジダ症 (安部 正敏) p.252
16. 紅色陰癬 (安部 正敏) p.253
17. Fournier 壊疽 (内田 秀昭, 田中 隆光) p.254
18. 単純疱疹 (塩原 哲夫) p.255
19. 帯状疱疹 (塩原 哲夫) p.256

20. 伝染性軟属腫 (塩原 哲夫)	p.257
21. 尖圭コンジローマ (安部 正敏)	p.258
22. Bowen 様丘疹症 (大原 國章)	p.259
23. 梅毒 (初期硬結・硬性下疳) (大原 國章)	p.260
24. 扁平コンジローマ (門野 岳史)	p.261
25. ケジラミ症 (青山 裕美)	p.262
26. 疥癬 (青山 裕美)	p.263
Part 3 腫瘍・奇形	
27. Fordyce 状態 (椛島 健治)	p.264
28. infantile perineal protrusion (青山 裕美)	p.265
29. 陰茎縫線嚢腫 (門野 岳史)	p.266
30. 軟性線維腫 (向井 慶, 林 耕太郎)	p.267
31. 脂漏性角化症 (安部 正敏)	p.268
32. 汗管腫 (日下 理絵, 深谷 早希)	p.269
33. hidradenoma papilliferum (大原 國章)	p.270
34. バルトリン腺嚢腫 (門野 岳史)	p.271
35. 乳児血管腫 (IH) (大原 國章)	p.272
36. 静脈奇形 (大原 國章)	p.273
37. 陰囊被角血管腫 (門野 岳史)	p.274
38. リンパ管腫 (加藤 和夏, 田中 隆光)	p.275
39. nonvenereal sclerosing lymphangitis of the penis (水川 伊津美, 深谷 早希)	p.276
40. verruciform xanthoma (大原 國章)	p.277
41. 陰囊石灰沈着症 (門野 岳史)	p.278
42. 色素細胞母斑 (椛島 健治)	p.279
43. 悪性黒色腫 (MM) (大原 國章)	p.280
44. Bowen 病 (大原 國章)	p.282
45. 有棘細胞癌 (SCC) (門野 岳史)	p.283
46. 基底細胞上皮腫 (BCE) (江川 昌太, 福安 厚子)	p.284
47. 乳房外 Paget 病 (門野 岳史)	p.285
比べてみよう! 部位別の臨床像④ 日光角化症	p.286

第5章 臀部・肛門

Part 1 腫瘍	
01. 悪性黒色腫 (MM) (大原 國章)	p.288
02. 先天性母斑 (椛島 健治)	p.289
03. 細胞増殖性青色母斑 (大原 國章)	p.290
04. 汗孔腫 (外山 雄一, 前川 武雄, 大槻 マミ太郎)	p.291
05. 基底細胞癌 (BCC) (大原 國章)	p.292
06. Bowen 病 (上松 藍, 鎌田 昌洋)	p.293
07. 有棘細胞癌 (SCC) (室田 浩之)	p.294
08. pigmented neurofibroma (室田 浩之)	p.295
09. 乳房外 Paget 病 (椛島 健治)	p.296
10. 直腸癌の皮膚浸潤 (門野 岳史)	p.297
Part 2 母斑・色素性病変	
11. Becker 母斑 (大原 國章)	p.298

12. McCune-Albright 症候群 (門野 岳史)	p.299
13. 蒙古斑 (門野 岳史)	p.300
14. 平滑筋母斑 (安部 正敏)	p.301
15. 炎症性線状疣贅状表皮母斑 (ILVEN) (中野 尚美, 前川 武雄, 大槻 マミ太郎)	p.302
16. 表在性皮膚脂肪腫性母斑 (室田 浩之)	p.303
17. 毛細血管奇形 (室田 浩之)	p.304
18. 乳児血管腫 (IH) (椛島 健治)	p.305
19. S-1 による薬剤性色素沈着 (門野 岳史)	p.306
Part 3 炎症	
20. 肛囲皮膚炎 (門野 岳史)	p.307
21. 亜鉛欠乏性皮膚炎 (椛島 健治)	p.308
22. 乾癬 (石川 武子)	p.309
23. 膿疱性乾癬 (安部 正敏)	p.310
24. 毛孔性紅色粧糠疹 (PRP) (軽部 大希)	p.311
25. CHILD 症候群 (杉原 夏子, 前川 武雄, 大槻 マミ太郎)	p.312
26. 毛巣洞 (室田 浩之)	p.313
27. 化膿性汗腺炎 (安藤 貴代)	p.314
28. 壊疽性膿皮症 (向井 慶, 福安 厚子)	p.315
29. Behçet 病 (室田 浩之)	p.316
30. 硬化性萎縮性苔癬 (LSA) (椛島 健治)	p.317
31. 限局性強皮症 (安部 正敏)	p.318
32. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) (門野 岳史)	p.319
Part 4 結節・物理的皮膚障害	
33. サルコイドーシス (大原 國章)	p.320
34. tumoral calcinosis (大原 國章)	p.321
35. 肛門垂 (安部 正敏)	p.322
36. coccygeal pad (椛島 健治)	p.323
37. 褥瘡 (門野 岳史)	p.324
38. 深部損傷褥瘡 (門野 岳史)	p.325
Part 5 感染症	
39. 伝染性膿痂疹 (室田 浩之)	p.326
40. ガス壊疽 (田中 隆光)	p.327
41. 扁平コンジローマ (深谷 早希)	p.328
42. 尖圭コンジローマ (竹内 周子, 鎌田 昌洋)	p.329
43. 単純疱疹 (安部 正敏)	p.330
44. 帯状疱疹 (安部 正敏)	p.331
45. 体部白癬 (安部 正敏)	p.332
46. 皮膚カンジダ症 (藪内 由季菜)	p.333
比べてみよう! 部位別の臨床像⑤ ケラトアカントーマ	p.334

第6章 足

Part 1 炎症, 角化症	
01. 慢性湿疹 (安部 正敏)	p.336
02. 痒疹 (塩原 哲夫)	p.337
03. 接触皮膚炎 (安部 正敏)	p.338

04. 重症薬疹 (塩原 哲夫)	p.339
05. 足底の角化 (胼胝・鶏眼・亀裂) (椛島 健治)	p.340
06. 掌蹠角化症 (長島型) (椛島 健治)	p.341
07. 毛孔性紅色靴糠疹 (PRP) (椛島 健治)	p.342
08. 乾癬 (椛島 健治)	p.343
09. 掌蹠膿疱症 (PPP) (塩原 哲夫)	p.344
10. symmetrical lividities (塩原 哲夫)	p.345
11. 皮膚筋炎 (DM) (塩原 哲夫)	p.346
Part 2 感染症	
12. 尋常性疣贅 (内田 秀昭, 石川 武子)	p.347
13. 足白癬 (塩原 哲夫)	p.348
14. pitted keratolysis (塩原 哲夫)	p.349
15. 壊死性筋膜炎 (山口 祐子, 深谷 早希)	p.350
16. 手足口病 (椛島 健治)	p.351
17. gloves and socks syndrome (塩原 哲夫)	p.352
Part 3 腫瘍	
18. 汗孔腫 (大原 國章)	p.353
19. traumatic epithelial cyst (加藤 和夏, 福安 厚子)	p.354
20. acquired digital fibrokeratoma (大原 國章)	p.355
21. 手掌足底線維腫症 (門野 岳史)	p.356
22. 粘液囊腫 (門野 岳史)	p.357
23. ガングリオン (椛島 健治)	p.358
24. 神経鞘腫 (門野 岳史)	p.359
25. 血管平滑筋腫 (門野 岳史)	p.360
26. tumoral calcinosis (門野 岳史)	p.361
27. fibroma of tendon sheath (門野 岳史)	p.362
28. black heel (水川 伊津美, 大西 誉光)	p.363
29. 色素性母斑 (大原 國章)	p.364
30. Spitz 母斑 (大原 國章)	p.365
31. 悪性黒色腫 (MM) (大原 國章)	p.366
32. 有棘細胞癌 (SCC) (大原 國章)	p.367
33. Bowen 病 (大原 國章)	p.369
34. 基底細胞癌 (上皮腫) (BCC / BCE) (大原 國章)	p.370
35. 隆起性皮膚線維肉腫 (大原 國章)	p.371
Part 4 血管腫・血管病変	
36. verrucous hemangioma (大原 國章)	p.372
37. 被角血管腫 (大原 國章)	p.373
38. 静脈奇形 (静脈性血管腫) (門野 岳史)	p.374
39. エクリン血管腫様過誤腫 (大原 國章)	p.375
40. Kaposi 肉腫 (門野 岳史)	p.376
41. pseudo-Kaposi sarcoma (門野 岳史)	p.377
42. cutis marmorata (塩原 哲夫)	p.378
43. Buerger 病 (安部 正敏)	p.379
44. 皮膚型結節性多発動脈炎 (CPN) (渡辺 愛友, 石川 武子)	p.380
45. リベド血管症 (椛島 健治)	p.381

46. コレステロール結晶塞栓症 (CCE) (藪内 由季菜, 林 耕太郎)	p.382
47. 静脈瘤 (加世田 千夏, 田中 隆光)	p.383
48. 糖尿病 (とくに糖尿病性壊疽) (安部 正敏)	p.384
Part 5 その他	
49. 点滴漏れ (安部 正敏)	p.385
50. 凍瘡 (塩原 哲夫)	p.386
51. 網状肢端色素沈着症 (北村) (AR) (安部 正敏)	p.387
52. 遺伝性対側性色素異常症 (遠山) (DSH) (安部 正敏)	p.388
53. Werner 症候群 (安部 正敏)	p.389
比べてみよう! 部位別の臨床像⑥ 悪性黒色腫	p.390

第7章 今山 修平コレクション

01. 爪の解剖学と組織学	p.392
02. 陰部皮膚の解剖学	p.400
比べてみよう! 部位別の臨床像⑦ 乳児血管腫	p.409
03. 肛門と臀部皮膚の解剖学	p.410
04. 足の解剖学と組織学	p.420

索引	p.429
----	-------

※「比べてみよう! 部位別の臨床像」と索引は『好発部位でみる皮膚疾患アトラス 頭部・顔』の関連ページを掲載しています。ぜひ併せてお読みください。

※本書は、『Visual Dermatology』誌に2015年～2022年の間に掲載した特集を再構成し、一部加筆・修正したうえで再掲載しています。各章の掲載号は下記の通りです。

- 第1章: Visual Dermatology Vol. 14 No. 12. 2015
- 第2章: Visual Dermatology Vol. 17 No. 11-12. 2018,
- 第3章, 第7章 01: Visual Dermatology Vol. 21 No. 7. 2022
- 第4章, 第7章 02: Visual Dermatology Vol. 19 No. 7. 2020
- 第5章, 第7章 03: Visual Dermatology Vol. 21 No. 12. 2022
- 第6章, 第7章 04: Visual Dermatology Vol. 20 No. 10. 2021